



進路だより

令和7年度

第15号

令和8年2月2日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

●● 進路体験記 ●●

今回は食品製造に就職した生徒、調理補助員として就職した生徒、アイリストとして就職した生徒、金属加工業に就職した生徒の進路体験記を掲載いたします。進路実現に向けて参考にしてください。

㉑ 就職 株式会社 関越物産 群馬工場 技術職(製造) 女子

私が進路について考え始めたのは高校2年生の頃でした。もともと就職することを考えていきましたが、どのような仕事をしたいかは全く決まっていませんでした。

最初は接客業に興味があり、実際にアルバイトをしてみました。しかし、働いている中で自分には向いていないと感じ、一人でコツコツ作業できる製造関係の仕事に興味を持つようになりました。製造関係の中でも食品製造を選んだのは、衛生的できれいな環境が整っているというイメージがあったからです。しっかり管理された職場であれば、安心して働くと感じ、食品を扱う仕事により興味を持つようになりました。

入社試験は一次試験が面接のみで、二次試験では面接、適性検査、一般常識の試験がありました。適性検査と一般常識はマークシート形式で、一般常識では国語・数学・英語が出題されました。面接では、志望動機や自分の長所・短所、学校生活で勉強以外に頑張ったことについて質問されました。緊張して言葉が詰まる場面もありましたが、自分の思いをしっかりと伝えることができました。

最後に、1・2年生へのアドバイスとして、欠席ができるだけしないことが大切だと思います。欠席が多いと、面接で必ず理由を聞かれるため、日頃から体調管理を意識して学校生活を送ることが大切だと感じました。また、進路については焦らずに、本当に自分がしたいことを考えて決めてほしいと思います。

2・3年次 履修科目

2 年	文学国語 国語表現 地理総合 歴史総合 科学と人間生活 体育 保健 美術II 工芸一般I デッサン 英語コミュニケーションII ビジネス・コミュニケーション デザイン基礎 探究セミナー
	3 年 文学国語 国語表現 体育 書道I 工芸一般II デッサン 英語コミュニケーションIII 栄養 ビジネス基礎 マーケティング ネットワーク活用 構成 総合研究

㉒ 就職 北毛保健生活協同組合 調理補助員(資格不問) 女子

私が自分の進路を意識し、決定したのは3年生になってからです。将来について考える中で、「人の役に立つ仕事に就きたい」という思いが強くなりました。もともと料理に関心があり、食を通じて人を支える仕事に魅力を感じていたことや、病院という人を支える現場で働くことでやりがいを感じられると思ったことが、病院の調理補助とという進路を選んだきっかけです。家族や先生と相談を重ねる中で、この仕事なら自分の強みを生かせると考え、進路を決定しました。

希望進路が決まってからは、就職に向けて積極的に準備を進めました。特に、日頃の授業や実習に真面目に取り組むことを心がけました。また、挨拶や時間を守ること、周囲と協力して行動することなど、社会人として大切なことを意識して生活しました。

履歴書の作成や面接練習では、先生方にアドバイスをいただき、自分の考えをしっかりと伝えられるように何度も練習しました。

就職試験では、面接試験が行われました。緊張しましたが、「なぜ病院の調理補助を希望したのか」「仕事に対してどのような気持ちで取り組みたいか」を自分の言葉で伝えることを意識しました。また、清潔感のある身だしなみや、相手の目を見て話すこと、丁寧な言葉遣いを心がけました。

内定の連絡をいただいた時は、とても嬉しく、安心した気持ちでいっぱいになりました。同時に、これから社会人として働くことへの責任も強く感じました。これまで支えてくださった家族や先生方への感謝の気持ちも

忘れず、仕事に取り組んでいきたいと思いました。

これから進路を考える1・2年生のみなさんには、早めに自分の将来について考え、さまざまな仕事に目を向けてほしいと思います。また、普段の学校生活や挨拶、授業や実習などの積み重ねが、進路実現につながると感じました。分からぬことや不安なことがあれば、一人で悩まずに先生や周りの人に相談し、自分に合った進路を見つけてください。

2・3年次 履修科目

2 年	文学国語 地理総合 歴史総合 科学と人間生活 体育 保健 工芸一般Ⅰ 英語コミュニケーションⅡ 住生活デザイン フードデザイン 栄養 マーケティング 社会体育概論 探究セミナー
	3 文学国語 政治・経済 生物 体育 工芸一般Ⅱ 英語コミュニケーションⅢ 年 保育基礎 服飾文化 フードデザイン ビジネス基礎 総合研究

㉔ 就職 株式会社 alpina アイリスト 女子

私は高校入学してからも、将来具体的にやりたいと思えることがなく、就職するか進学するか3年生になっても決まっていませんでした。友達の付き添いで調理の専門学校や美容の専門学校のオープンキャンパスに参加し、専門学校に進学するか就職するか悩んでいました。専門学校に絶対に行きたいという目標があるわけでもなく、奨学金を借りてまで進学することに意味があるのかと考えていました。

そんな中、数ある求人票の中からアイリストの求人票を見つけました。その会社は、お客様の魅力を直接サポートすることができ、仕事にやりがいを感じられました。その後は、職場見学に行ったり、その会社についてよく調べたりしました。職場見学では美容室の内装や会社の方針、実際に働いている方の話も聞かせてもらうことができました。

選考試験は、面接だけで受験者1人に対して面接官2人で、雰囲気は和やかな感じでした。聞かれた内容は志望理由と見学した雰囲気はどうだったか、短所、長所などです。どんな質問が来ても笑顔は忘れずしっかり受け答えができるように心掛けました。

2・3年次 履修科目

2 年	文学国語 地理総合 歴史総合 科学と人間生活 体育 保健 美術Ⅱ 英語コミュニケーションⅡ 住生活デザイン フードデザイン 栄養 ビジネス・コミュニケーション 社会体育概論 探究セミナー
	3 文学国語 世界史探究 生物 体育 工芸一般Ⅰ デッサン 保育基礎 服飾文化 年 フードデザイン マーケティング 総合研究

㉕ 就職 八州電工 株式会社 金属加工スペシャリスト 女子

私は、高校に入学したときから進路は就職と決めていました。すれば、小さい頃からものづくりが好きだったので、少しでも早くものを作ることがしたかったからです。

3年生になり、具体的にどの会社を受験するかを決める時には、どこで、どのようなものづくりをしている会社があるのかを親や親戚に聞いたりして調べました。

就職試験は面接だけで、志望理由や長所、短所など事前に対策していたことが聞かれました。その他は、世間話のような雰囲気で終わりました。面接の最後に、「大体の人はかかるよ」と言われたので少し安心しました。

実際に内定が決まったときは嬉しくて、一番はじめに親に報告すると、親もとても喜んでくれました。

1・2年生に向けてのアドバイスとしては面接練習を入念にしておくことです。

2・3年次 履修科目

2 年	文学国語 地理総合 歴史総合 物理基礎 地学基礎 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 栄養 基礎体力講座 社会体育概論 社会体育実践 探究セミナー
	3 文学国語 数学セミナー 生物 体育 工芸一般Ⅰ 保育基礎 ビジネス法規 年 基礎体力講座 社会体育概論 スポーツセミナー 総合研究